

# 1 令和7年度九州沖縄ブロック（宮崎県）共に学び、生きる共生社会コンファレンス「ひなたのつどい 2025～誰にでも開かれた学びの場を広げるために」開催報告

## I 概要

### 1 趣旨

「障がい者の生涯学習」の推進に向けて、障がいの有無にかかわらず、誰もが共に学び、共に生きる共生社会の実現のために、地域における障がい者の生涯を通じた学びの場の整備を目指して、宮崎県内の関係者が、一般県民向けや、障がい者の生涯学習に関心のある方々に向けて、障がいのある方々の生涯学習について先進事例を紹介する機会とする。

### 2 主催

宮崎県教育委員会、文部科学省

### 3 テーマ

誰にでも開かれた学びの場を広げるために

### 4 日時

【コンファレンス】

令和8年2月7日(土) 午後1時から午後3時まで（受付は午後0時30分より）

【体験ブース】※同日開催

体験ブース①	電動車椅子体験、ものづくり体験教室 視覚支援スマホ・点字体験教室 読書バリアフリー関係	午前11時から午後1時
体験ブース②	デフカフェ	午前11時から正午 午後1時から午後2時

### 5 開催方法・参加方法

ハイブリッド開催（会場参加、WEB 会議システム「ZOOM」でのオンライン配信）

### 6 会場

イオンモール都城駅前

〒885-0023 都城市栄町4672-5

(1) コンファレンス会場 2階 イオンホール

(2) 体験ブース会場

体験ブース① 1階 郵便局隣スペース

体験ブース② 1階 スターバックスコーヒージャパン

## 7 日程

11:00		12:00	13:00	13:10	13:25	13:45	13:50	14:55	15:00
		<b>コンファレンス</b>							
体験ブース1		オープニング	トークショー	質問	休息	トークセッション		クロージング	
体験ブース2		体験ブース2							

### <ステージ>

#### 総合司会

佐藤 純也 氏（県立延岡しろやま支援学校卒業生）

藤田 愛香 氏（県立延岡しろやま支援学校卒業生）

#### MC

県生涯学習課 副主幹 飯野 小巻

#### (1) オープニング

文部科学省事業説明

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課

障害者学習支援推進室長 男女共同参画学習室 別田 果菜子 氏

#### (2) トークショー

ゲスト

濱田 祐太郎 氏（吉本興業所属 「視覚障がいのある漫談家」として活躍）

#### (3) 質問

一般参加者から濱田氏に聞きたいこと ※タブレットで質問受付

#### (4) トークセッション

【テーマ】：「共に学ぶことができる公民館講座を知ってもらおう！」

登壇者

日向市教育委員会 文化・生涯学習課 長友 俊介 氏

延岡市教育委員会 社会教育課 上杉 さやか 氏

都城市教育委員会 生涯学習課 天神原 葵 氏

総合司会 2名

ゲスト 濱田 祐太郎 氏

#### 【内容】

##### ① 宮崎県の取組について

宮崎県教育庁生涯学習課 社会教育主事 園田 芙美

##### ② 3市の実施講座についての紹介（スライド写真、参加者数）及び今後の予定

##### ③ 講座に参加した人のコメント（佐藤氏、藤田氏）

##### ④ 濱田さんに学びの経験をきいてみよう！

・これまでの学びについて（今、昔の習い事など）

・NSCに入った理由、学びの情報はどこから得ているか？ 等

##### ⑤ 意見交換

##### ⑥ 質問、意見（会場より）

##### ⑦ まとめ

(5) クロージング

県生涯学習課 課長 中村 敏彦

<会場入口>

県立高等学校と特別支援学校の取組を紹介するポスターを掲示（特別支援教育課）

8 情報保障

手話通訳、要約筆記、車椅子スペース

9 参加対象

障がいのある方々の生涯学習に関心のある方

10 申込み方法・申込先

2次元コード（WEBフォーム）、電話、ファクス（チラシ裏面）

11 広報

- チラシ配布（特別支援学校、市町村教育委員会、県内各学校等）
- テレビ番組（県教育委員会の番組）やラジオ番組（県政ラジオ番組）での告知
- 県庁ホームページ、県生涯学習課ホームページ、SNS等での周知

12 事後

- (1) 参加者アンケートの実施
- (2) 県生涯学習課ホームページ「みやざき学び応援ネット」でアーカイブ動画紹介

令和7年度九州沖縄ブロック(宮崎県) 共に学び、生きる共生社会コンファレンス

# ひなたのつどい 2023

～誰にでも開かれた学びの場を広げるために～

令和8年 2月7日(土) 12:30開場 13:00～15:00 体験ブース

会場 **イオンモール那覇駅前**

参加者 **定員100名** (余額Zoom)

ハイブリッド開催 (会場Zoom)

13:00～ オープニング 文部科学省あいさつ

13:10～ トークショー 特別ゲスト 演説家 **濱田 祐太郎氏**

参加無料

13:10～ トークショー・質問コーナー

13:50～ トークセッション

14:55～ クロージング 閉会のごぼ・サイン本贈呈

お申し込み方法 Webフォームから申し込む、電話で申し込む、0985-26-7244

お問い合わせ先 宮崎県教育庁生涯学習課 生涯学習推進担当 TEL: 0985-26-7244

11:00～13:00 電動車椅子体験

11:00～13:00 視覚支援スマホ(30分)+点字体験教室(30分)を計2回

11:00～12:00 ものづくり体験教室

12:00～13:00 バリアフリー図書展示

13:10～ トークショー・質問コーナー

13:50～ トークセッション

トークテーマ 「共に学ぶことができる 公民館講座を知って もらおう！」

登壇者 演説家 **濱田 祐太郎氏**

14:55～ クロージング

お申し込み方法 Webフォームから申し込む、電話で申し込む、0985-26-7244

お問い合わせ先 宮崎県教育庁生涯学習課 生涯学習推進担当 TEL: 0985-26-7244

## II コンファレンスの実際



### I 参加者数と内訳

内訳	人数 (名)	
	会場	オンライン
行政関係者 (教育委員会)	12	
行政関係者 (首長部局)	1	
学校教育関係者 (大学等関係者を除く)	6	
大学等関係者	7	
公民館等社会教育施設関係者	5	
社会福祉法人関係者	4	
NPO 法人関係者	0	
企業関係者 (商工会等含む)	6	
保護者団体関係者 (親の会・手をつなぐ育成会等含む)	5	
その他一般参加者	50	
運営事務局関係者	18	
合計(名)	114	
総合計	140	

※ うち、4名が障がい当事者

### 2 参加者アンケート

#### (1) 回答者の所属内訳

障がい当事者・家族	4
障がい者団体・支援団体関係者	4
福祉団体・福祉事業所関係者	
企業関係者	11
教育行政関係者	
福祉行政関係者	1
教育 (学校等) 関係者	5
学生 (児童生徒含む)	9
ボランティア団体	3
その他 (一般)	11
合計 (名)	48

(2) 地域

都城市：12、宮崎市：12、延岡市：6、三股町：2、県外：11、その他：5

(3) 参加したイベント

体験ブース：17、デフカフェ：8、コンファレンス：42

(4) 「ひなたのつどい2025」の趣旨

障がいの有無にかかわらず参加できる障がい学習の大切さについて理解できましたか

(4段階評価)

4 (よく理解できた)：36

3：8

2：0

1 (理解できなかった)：4

<理由>

【参加者アンケート】※一部抜粋 (◎成果 ●課題 ○意見)

<参加者の声>

◎ 障がい者にとっても生涯学習が大事だとわかった

◎ 様々な障がいをカバーする環境が整えば、障がい者の社会参加が進むだろうと実感できた。

○ 濱田祐太郎さんの前向きな生き方（常に面白いことを言って皆を明るくしたい）にとっても共感しました。濱田さんの姿勢を見習って生活していきたいと強く思いました

○ 障がいのある方が参加しづらい社会を緩和し、学びたいときに誰もが学べる環境をつくること  
が、共生社会の実現につながると考えます。

● 参加の場所が増えていることはわかったが、障がいや病気のある当事者から大切さや可能性について伺ってみたいかった

(5) コンファレンスについて (4段階評価 4 大変満足→1 不満足)

項目	4 (大変満足)	3	2	1 (不満足)
1.開催日時及び全体の時間	31	11	0	1
2.申し込み方法	33	9	1	1
3.定員	29	12	2	1
4.会場の広さ	26	11	3	1
5.アクセス	25	15	2	1
6.オープニング	30	11	1	1
7.トークショー・質問	38	4	0	1
8.トークイベント	34	0	0	1
9.全体の流れ	33	9	1	1

<満足度の理由> ※一部抜粋、まとめ

#### 1 イベント全体の満足度と温かい雰囲気への評価

- ◎「楽しかった」「大満足」「あつという間の2時間」といった声が多く聞かれた。
- ◎「アットホームな雰囲気」「話しやすい雰囲気」「手作り感がよかった」「皆さんの優しさに触れた」など、心地よい空間づくりについて一定の評価が得られた。

#### 2 当事者の声の重要性と濱田祐太郎さんへの共感

- ◎「生トークが聞けたので大満足」「濱田さんの当事者目線の意見や対応がわかりやすかった」「さずがのお笑い芸人さんであること、また当事者としての素直な意見も勉強になった」と、その内容と人柄に多くの参加者が感銘を受けたとの感想があった。

#### 3 学習内容の充実と今後の活動への期待

- ◎「だれもが気軽に参加できる学びの大切さを会場全体から感じた。市の具体的な取り組みもよかった」との評価を得られた。
- ◎他県の参加者より、「会場、内容が今後の参考になった」という声も得られた。

#### 4 運営面への期待と、より深い交流・学習機会への要望

- 「質問後の写真撮影は不要」、「オンラインでの質問者探しが大変そうだった」、「会場と出演者の事前打ち合わせ不足が残念だった」といった課題がある。
- 「事例紹介は動画などでもっとイメージできた」「もう少し時間があれば、事例紹介や連携について話が聞きたかった」等、学びの機会をさらに深めたいという参加者の意見があった。

<意見> ※一部抜粋、まとめ (○成果 ●課題)

- 初めて参加した。共に学ぶということを、肩肘はらず！できるところから！難しく考えすぎないよに！やっていきたいと思う。
- 私は学生だが、知りたいと思った情報はTikTokやInstagramといったSNSで調べることが多い。今回知った活動もSNSを活用してぜひもっと多くの方の目にとまればよい。
- この事業を広く周知する意味では、福祉や教育にかかわる方以外の方も取り込めたので良かったと思う。
- 近くの席の人と生涯学習について話しができてよかった。
- 岡山県でも障がい者や外国人等、多文化共生の視点から公民館を核とした事業を来年度から実施予定。今回の研修会の内容をヒントに岡山県でも取組を進めていきたいと思う。
- 企画に関わる当事者が増えて、共に作り上げる活動が当たり前になることを期待したい。
- ウェブ製作者として、今回の生涯学習についてはアウェイな立場だった。身内ノリのようなものを強く感じて、場違いだったのかなと少し思った。開いたカンファレンスだと思うので、そのあたりはフラットをより意識していただけたらと思った。

(6) 体験ブース①



・内容の満足度（4段階評価 4 大変満足→1 不満足）

	4	3	2	1
電動車椅子体験	10	1	0	0
視覚支援スマホ・点字体験	10	2	0	0
バスボム	11	1	0	0
バリアフリー図書	12	2	0	0

・体験ブースについて（4段階評価 4 大変満足→1 不満足）

	4	3	2	1
体験時間	12	1	0	1
申し込み方法	13	2	0	0
定員	13	2	0	0
会場の広さ	11	1	3	0
アクセス	15	1	0	0

・満足度の理由

- ◎ 色々、体験できて良かった。
- ◎ 楽しかった
- ◎ 種類が豊かだったため
- ◎ スタッフが、ブースの空き状況を見て案内（声かけ）してくれた。

・感想（◎成果 ○意見 ●課題）

- 今後も続けてくださるとありがたい。
- ◎ 身近にも電動車椅子や点字を使う方がいるので少しでも同じ気持ちを味わえればいいと思い参加した。
- ◎ 新しい感覚だった。
- ◎ 見て触れて感じる事ができた。
- ◎ 細かい部分が、実際に体験してこそ実感出来てとても良かった。
- 視覚支援スマホを体験した。もう少しゆっくりやりたかった。初めての体験で、視覚障がい者の日常を少しだけ感じる事ができた。気づけただけでも、今日の大きな収穫である。

(7) 体験ブース② (デフカフェ)



	4	3	2	1
体験時間	8	1	1	0
申込み方法	8	1	1	0
定員	8	1	1	0
会場の広さ	7	2	1	0
アクセス	9	2	0	0

・満足度の理由 (◎成果 ●課題)

- ◎ カフェの空間で手話体験できて良かったです。
- ◎ 昔手話を習っていたが、かなり忘れていたので、思い出しながらやれました。
- 待つ場所が不明瞭で、順番も分からなかったため、予約はしなくても良いと思うのですが、番号札を配布する形にして、カフェの中で待てる様にしてもらえると、ゆっくり待てますね。

・感想

- ◎ 楽しかったです
- ◎ 子ども一緒に手話を学ぶことができて良かったです。
- ◎ 今後も続けてくださるとありがたいです。
- ◎ 楽しく手話でおしゃべり出来ました
- ◎ 手話上級者でなくても、ろうの方と色々お話できると分かりました。会話が1番手話を覚えていく方法だと感じます。とても良い時間でした。

(8) イベントを知ったきっかけ

案内チラシ	16
知人や職場などからの紹介	20
ホームページ	5
SNS	2
テレビ・ラジオ	2
その他	3

(9) 生涯学習について

- ・障がいの有無にかかわらず参加できる公民館講座を知っていたか  
知っていた：21、知らなかった：27

- ・参加したことはあるか（知っていたと回答した人のみ）  
ある：9、ない：11

- ・どんな講座に参加したか（あると回答した人のみ）  
料理教室・運動、料理講座、クリスマス小物作り、かねのね、秋田県の公民館講座  
ダンス、物づくりなど

- ・参加した理由（あると回答した人のみ）  
視察を兼ねて  
楽しそうだったから  
県が委託している公民館に視察を兼ねて参加  
生涯学習に興味があったから  
県の事業担当者として知見を広げるため

- ・参加しなかった理由（ないと回答した人のみ）  
よく知らない  
どれが該当するか分からないから  
タイミング、曜日、時間、興味のある内容と合わなかった  
情報を得る機会がなかったから  
残念ながら遠いため

- ・講座情報の受け取りやすい方法

SNS	22
市町村HP	13
チラシ	11
メール	8
その他	1